



まつのちょう
松野町

〒798-2192
北宇和郡松野町大字松丸343番地

電話
番号 (0895)
42-1111

地域
指定 過疎 山振 農工 辺地(1) 宅定住
特農 農振 国立公園 拠点都市

FAX (0895)
42-1119
(代表)

<http://www.town.matsuno.ehime.jp/>

〈沿革〉

昭30. 3.31 合併 吉野生村・松丸町

〈市町のあらまし〉

愛媛県の西南部に位置し、高知県と境を接する山間の町である。町土の84%は森林で、国立公園「滑床渓谷」を有し、広見川・目黒川等の豊かな水は天然うなぎ・川ガニの宝庫である。

その昔、土佐街道の要所で、物流・交易の場として栄えその町並みは今なお保存されている。

桃・茶・梅・ユズや雷漬の特産品づくりが盛んであるほか、地域資源を活かした観光交流事業や県境地域と連携した施策の推進、企業誘致と地場産業の振興に力を注いでいる。

〈由来〉

昭和30年3月18日、松丸町、吉野生村合併促進協議会の委員の投票の結果、数多くの町村名候補の内、松丸町の「松」吉野生村の「野」を一字ずつとって松野町とすることに決まった。

〈庁舎の建設年度〉

建築年度	増 改 築	主な増改築箇所
昭36年度		
平11年度	増	別館(書庫棟)

〈行政組織〉

(平成29.4.1現在)

議 会 (平成29.4.1現在)

職員数 (平成29.4.1現在)

区 分	名 前	任 期	議長	加藤 康幸	副議長	土居 一誠	普通会計	67人
町 長	まかもと ひろし 坂本 浩	平成32.11.27	議員	(条例定数) 7人			企業会計	1人
				(現 員) 7人			その他会計	17人
副町長	すやま またやす 須山 定保	平成33. 3.31	任期	平成31. 2.24			計	85人

〈人口・世帯数〉

()は増減率

区 分	平2国調	平7国調	平12国調	平17国調	平22国調	平27国調	29.1.1住基
人 口	(△6.3%) 5,325	(△5.4%) 5,038	(△2.6%) 4,906	(△4.4%) 4,690	(△6.7%) 4,377	(△7.0%) 4,072	4,156
男	2,495	2,364	2,329	2,211	2,067	1,887	1,958
女	2,830	2,674	2,577	2,479	2,310	2,185	2,198
世帯数	1,673	1,711	1,779	1,815	1,748	1,675	2,058

年齢構成（平27国調）

区 分	14歳以下	15歳以上64歳以下	65歳以上
人 口	354 人	1,984 人	1,726 人
構成比	8.7 %	48.7 %	42.4 %

選挙人名簿
登録者数（平29.9.1現在）

男	1,693 人
女	1,894 人
計	3,587 人

（土地利用）

（平27.2.1現在）（ha. %）

総面積 平28.10.1(㎏)	林野面積	林野率	経営耕地面積			宅地化率 平28.1.1	
			田	畑	樹園地		
98.45	8,230	83.6	326	224	34	67	1.7

（産 業） 産業構造

（百万円・人）

区 分	総生産額(平26年度)		就業人口(平27国調)	
	金額	率	人数	率
第1次	357	4.0 %	291	16.2 %
第2次	1,915	21.5 %	335	18.7 %
第3次	6,635	74.5 %	1,165	65.0 %
計	8,907	100.0 %	1,791	100.0 %

（注）「総生産額」の計欄は帰属利子の控除等を行っており、「就業人口」の計欄は分類不能の人数を含む。

主要製造業（平26年）

（百万円）

品 名	製造品出荷額等
※各品名における製造品出荷額等は、1又は2の事業所に関する数値で、これをそのまま掲げると個々の申告者の秘密が漏れるおそれがあるため秘匿とした。	

所得（平26年度）

1人当たり 市町民所得	千円 1,950
----------------	-------------

平成28年度の主な建設事業

（百万円）

事 業 名	事 業 費
がけ崩れ防災対策事業	82
町道改良事業	97
広域基幹林道整備事業	9
定住促進住宅建設事業	89
橋梁修繕事業	51
中山間地域総合整備事業	9
農業公園改修事業	10
企業誘致関係福祉団地整備事業	12
雪輪の滝休憩所整備事業	27
農業基盤整備事業	7
県境休憩所トイレ整備事業	15
虹の森公園施設改修事業	16
県防災通信システム更新整備事業費負担金	11

今後の主な建設事業

（百万円）

事 業 名	事 業 費
がけ崩れ防災対策事業	72
町道改良事業	182
広域基幹林道整備事業	15
ふれあい交流館駐車場拡張事業	18
定住促進住宅建設事業	97
中山間地域総合整備事業	15
小型動力ポンプ付積載車整備事業	7
西小学校大規模改修事業	199
トマトハウスボイラー整備事業	7
油圧ショベル整備事業	7
町営住宅改修事業	5
獣肉処理加工施設耐震改修事業	14
西の川地区農道整備事業	5

〈観光・レクリエーション〉

名勝旧跡	国立公園「滑床溪谷」 伊井公園 天ヶ滝 不器男記念館 国指定史跡河後森城跡 国指定重要文化財目黒山形模型 一位檜 逆枝のイチョウ 森の国ほっほ温泉
観光施設	四国ほけ封じ三十三観音霊場 虹の森公園 (四万十川学習センターおさかな館、森の国ガラス工房、森の国ファーム、特産品販売所、レストラン遊鶴羽) 森の国ロッジ、森の国ホテル
祭り 催し物	桃源郷マラソン大会(4月上旬) 桃まつり(7月上～中旬) 滑床山開き(4月下旬) 滑床まつり(7～8月中旬) 森の国の夏まつり(8月中) 秋まつり(10月第4日曜日)、 松野四万十バイクレース(10月)、文化祭(11月上旬) 不器男忌俳句大会(2月下旬) 予土うまいもの合戦(8月、11月) 森の国戦国武者伝走(11月)
公 営 宿泊施設	森の国ホテル 森の国ロッジ

〈名物・特産品〉

天然うなぎ かに 桃 梅 茶 ユズ ガラス製品 森の国ブランド認定品…柚子ジャム、桃ジャム、雪輪あられ、松野町産南高梅、ピーチワイン「なめとこ」、風雷坊、雷漬、 生芋こんにゃく、手もみ茶、梅シロップ、梅そうめん

〈主な公共施設〉

町民センター 地区公民館 小学校(3) 中学校 保育所(2) 診療所 保健センター 隣保館(2) 森の国ホテル 森の国ロッジ 健康増進センター 目黒基幹集落センター スポーツ広場(クローカー場) コミュニティーセンター(屋内運動場) 不器男記念館 目黒ふるさと館 吉野生山村広場 スポーツ交流センター 吉野生交流促進センター 虹の森公園(四万十川学習センターおさかな館、森の国ガラス工房、森の国ファーム、特産品販売所、レストラン遊鶴羽) 育苗施設、総合営農指導拠点施設、学校共同調理場、森の国ドーム(屋内多目的広場) 梅処理加工施設、ふれあい交流館(森の国ほっほ温泉・観光福祉・松丸駅舎複合施設)
--

〈主要課題〉

基本方針 『小さな町の大きな挑戦』
重点施策目標
1. 健やかで生きがいに満ちた“森の国”(健康・福祉)
2. 賑わいと活気にあふれた“森の国”(産業・雇用)
3. 安全で快適な暮らしの“森の国”(環境・防災)
4. 子どもたちの夢が広がる“森の国”(教育・子育て)
5. 揺るぎない行財政基盤の“森の国”(行革・協働)

〈地域づくりの事業等〉

<ul style="list-style-type: none"> ・ふる里まつりの会 都会の人々を対象に年会費15,000円で会員を募集し、特産品の直送(年5回)を行っている。 ・滑床まつり 町内の若者が中心となって、滑床をバックにくり広げられるユニークなイベントで、ファミリーアドベンチャー、釣り大会、滑床沢歩き、森の国の夏祭り等を実施。 ・不器男の里記念事業 不器男の里俳句大会、少年俳句大会、俳句の小径、河後森城めぐり、「松野の歴史・文化」を考える集い ・老人福祉施設整備事業 総合的なシルバー・コミュニティゾーンを設定し、年次計画的に老人福祉施設の整備を図る。 ・河後森城跡史跡公園整備事業 国指定史跡河後森城跡を歴史・自然体験学習や憩いの場などに活用するため、発掘調査、生活環境保全林整備、各種施設整備等を行う。 ・森の国まつりの応援団 本町出身の都市在住者により応援団を結成し、情報交換や町政に対する意見、提言を行う。 ・戦国絵巻のまちづくりプロジェクト 予土県境地域であるが故の地域資源を活用した新たな観光集客力向上に資する取組
--

〈市町が出資している地方公社の設立状況〉

(平成29.4.1現在)

形態	地方公社の名称	設立登記年月日	資本金(千円) 出資割合(%)	主な事業内容
(株)	松野町農林公社	平10. 4. 8	45,000 (96.9)	野菜苗、花壇苗の生産・供給 農作業等受委託 新規就農者育成のための研修
(株)	まちづくり松野	平28.12. 26	50,400 (99.2)	観光地の環境整備 観光情報の収集・提供 イベント企画・実施 宿泊・飲食販売

〈総合計画〉

基本構想			基本計画
計画の名称	議決年月日	期間	期間
第5次松野町総合計画		平27～平36年度	同左

〈行政機構〉

(平成29.4.1現在)

